

学校教育目標

「自らの考えをもち、他者と協働し、
心豊かにたくましく生きる生徒の育成
～本気・笑顔・輝き～」

キーワード

- 聴く・考える・伝える
- あいさつ・返事・靴そろえ
- 進んで行動
- 温かいことばかけ

三力精神を
もつ生徒

- **気力** : 主体的に学習し、行動に勇氣と責任を持ち、何事もねばり強くやり抜く力
- **体力** : 勤労を尊び、スポーツに親しみ、心身ともにたくましい力
- **協力** : 自分らしさを認め合い、思いやりをもって、だれとでも仲良くできる力

令和5年度の重点

互いに認め合い、支え合い、高め合うなかで

確かな学力の育成

～聴く・考える・伝える～

- 生徒同士の認め合いを大切に
した授業づくり(『聴く・考える・伝える』『非認知能力の育成』)
- 家庭学習習慣の確立、定着
- 効果的な端末利活用の研究

豊かな心と自主性の育成

～あいさつ・返事・靴そろえ～

- 生徒指導の4つの視点を生かした指導の充実
- 自治的な集団づくり(あいさつ・返事・靴そろえ、進んで行動)
- 互いを認め合える集団づくり(自己有用感、自己肯定感の醸成)

安心・安全と健康・体力の向上

～温かいことばかけ～

- 幅広い教育相談機能の活用(温かいことばかけ)
- 不登校・長期欠席者への対応
- 家庭や地域と連携した教育活動の推進(基本的生活習慣の定着)

愛情と信頼を基盤に、人権尊重と自立支援の立場に立つ指導

家庭・保幼小・地域との連携

- ・地域関係機関、PTAとの連携
- ・中学校区教育連携会
- ・放課後サポート事業の活用

職員研修の充実

- ・授業改革、学習習慣定着の取組
- ・生徒理解と教育相談技術の向上
- ・特別支援教育の視点

学校評価の充実

- ・教職員、生徒、保護者アンケート
- ・学校評価委員会
- ・学校評議員会

学校の現状と課題及び今年度の計画

各種生徒アンケートの結果では、「生活上のきまりを守っている」99%、「お互いの良いところを認め、お互いを大切にしている」92%、「学校では安心して過ごすことができる」92%等肯定的回答が多くあった。一方、「自分は役に立っていると思う」56%(前年比-4p)、「家で予習・復習をしている」66%(前年比+4p)等、自己肯定感や家庭学習の状況等に依然として課題が残る。また、「学校を自分たちの力でよくしていこうと心がけている」が大きく肯定率を下げた(-14p)ことも課題である。

【確かな学力の育成】

授業規律が定着し、落ち着いた学習環境で授業が行えている。「主体的・対話的で深い学び」を実践するため、「聴く・考える・伝える」に加えて「非認知能力の育成」も意識した授業づくりを工夫し、学力向上及び自己肯定感の高揚を図る。また、授業と連動した課題の工夫や家庭と連携した家庭学習の充実に取り組む。

【豊かな心と自主性の育成】

アンケート「あいさつ・返事・靴そろえを心がけている」生徒97%、保護者89%と、中学校区の取り組みや生徒会の取り組みが浸透し学校外でも認められている。学校生活全般を通して生徒指導の4つの視点を生かした指導を充実させることで、自他の違いや良いところに気付き認め合い安全に過ごせる集団づくりを目指す。また、生徒主体の学校行事の推進や生活のきまりの見直しを進めるなど、自治的な集団づくりのさらなる充実を図る。

【安心・安全と健康・体力の向上】

生徒アンケート「相談できる先生がいる」80%と、肯定的回答が増えてきた。長期欠席者等への対応も含み、教育相談週間の設定やスクールカウンセラーとの連携など相談機能を引き続き整え、アンケートの活用や日々の変化を早期に見取り、生徒に寄り添った相談体制の充実を図る。

【その他】

スマホ所持率は76%。経年的にSNS利用によるトラブル発生が懸念される中、一人一台端末の活用を推進しなければならない。使い方によって多くの可能性を秘めた便利なツールだが、生活リズムや家庭学習に影響を与えるものにもなり得る。リスクを理解しながら、持ち帰りを含めた活用方法の拡大を図っていく。